

企業価値の持続的な拡大



1 DDI、KDDI、IDOが合併、株式会社ディーディーアイ(KDDI)発足。2002年11月に現社名の「KDDI株式会社」に変更



2 CDMA2000 1x EV-DO方式を利用して、下り最大2.4Mbpsのデータ通信が可能な「CDMA 1X WIN」を開始。同時に業界初のパケット定額制を導入



3 auのスマートフォンラインアップにiPhoneを追加。auのモメンタム向上に大きく寄与

◆ 営業利益*1 (左軸) — 時価総額 (月足) (右軸)

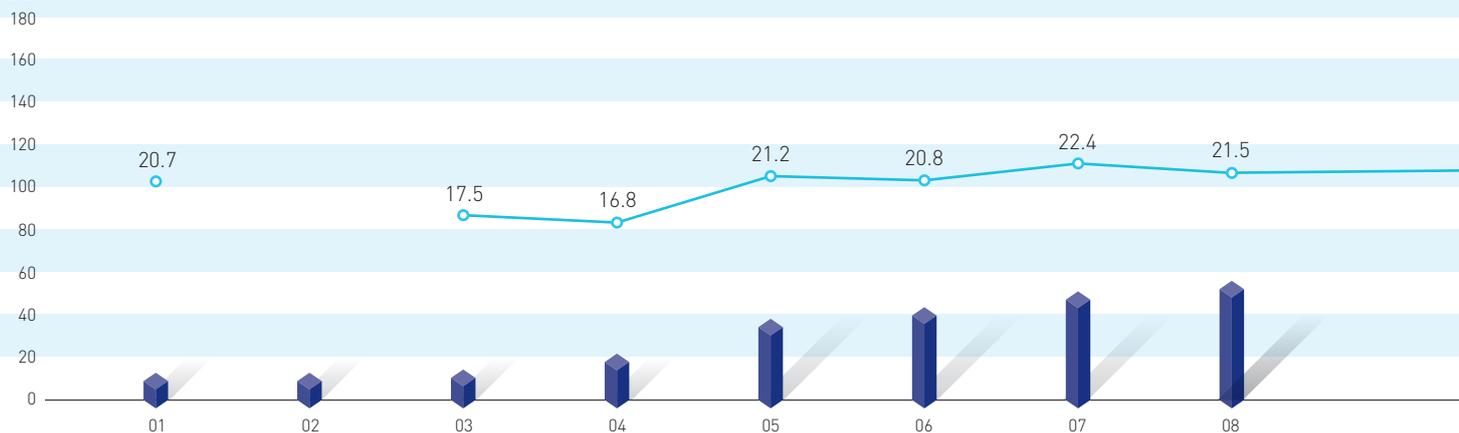
(十億円)



*1 営業利益は表記の3月31日に終了した各決算期の数値

◆ 1株当たり配当金*2 (左軸) — 配当性向*3 (右軸)

(円)



*2 2012年10月1日並びに2013年4月1日を効力発生日として実施した株式分割調整後の値。合わせて、過年度も分割調整後の数値を記載

*3 2002年3月期の配当性向は、純損失のため非表示

auスマートバリュー
auスマートパス

4 スマートフォンと固定ブロードバンドのバンドルサービスや、スマートフォンを安心・快適に利用できるプラットフォームサービスなど、新たな価値を業界に先駆けて提供開始

もっと、あなたに響くこと。
J:COM

5 業界シェアの過半を占めるJ:COMの連結化により固定ブロードバンドにおけるお客さま基盤をさらに強化。2014年3月期のKDDI連結業績押し上げにも寄与



6 リアル店舗でも利用可能な決済機能を追加した新しい電子マネーサービス「au WALLET」を提供開始

